

2020 くるみ 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など、課題
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動内容により、必要に応じて棚を動かし、スペースを確保しており、十分に余裕が持てるように環境作り規定のスペースは確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・児童指導員、保育士を基準数（2名）以上配置している。役割分担を行い、支援を行うことができ、状況に応じて協力体制がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・玄関や活動部屋入り口に段差あり、玄関では必要に応じてスロープ使用。現在は車いす使用利用者はいない。活動部屋入り口では言葉掛け等を行い、怪我のないよう見守り、対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・法人の全体会議や事業所会議で議題の中に必ず業務改善について話し合い、日々の業務の中で、職員間で相談・共有を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・定期的にアンケート調査を実施しており、結果を共有し会議、申し送り等で改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・紙面にし、保護者への配布、HPで公開を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価の実施はない。第三者評価制度等の外部評価の活用を検討している。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人全体で研修計画を策定、実施し、毎月（8月を除く）職員研修を実施している。又外部研修の案内の配布も行われ参加している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別支援会議で話し合い、作成している。職員一人の意見にならないよう様々な意見を取り入れている。子どもと保護者の課題やニーズを明らかにできるよう工夫はしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメントツール・フェイスシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎月、職員間で話し合い、カレンダー作り、計画書立案・作成後、話し合い、改善、工夫を加えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節の行事の取り入れや日替わりでの行事、新しい物、レクリエーションの変更を話し合い、固定化しないよう情報収集して取り組むようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・利用時間等に応じて、支援内容、活動内容の設定を行い、集団でテーマを決めたり、活動計画・予定表（月・週）で細かく設置されている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・無理なく活動に参加できるように興味関心が持てる活動の取り組みを検討し児童の課題や状況に応じて、集団活動の中での、個別課題、支援方法を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・午前・午後にそれぞれ申し送りを行い、利用児童、活動内容、支援内容についての申し送り、把握・確認・分担・共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・終礼時に申し送りを行い、児童の様子や業務についての振り返りをその日に申し送れなかった場合は、翌日の朝の申し送りにて申し送っている。
関	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・個別支援記録や活動報告書を毎日記録し、支援記録に対する研修も行って検証、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・各児童3～6ヶ月毎に定期的にモニタリングを行い、職員間で検討、見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる工夫を行い、活動・集団活動に取り入れているか	○			・社会生活能力、集団活動への参加等、組み合わせる工夫を行い、活動・集団活動に取り入れている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者、児発管は必ず参加し会議が行われている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・各学校より下校表、行事予定表を頂いており、書類等はファイルで管理し、確認がすぐ行えるよう保管されている。又、送迎時、電話連絡等、行われている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在、医療的ケアが必要な利用児童は利用していないが、今後利用がある場合には主治医や協力医と連携して必要な措置を取っていく。

2020 くるみ 放課後等デイサービス自己評価表

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・連絡を行つたが、年度末で保育園なども忙しい時期で共有できる機会がない。今年度は利用の前に保育所訪問を予定していたが新型コロナウイルス感染症で出来なかった。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・今までで1名だけ移行あり、情報提供を行っている。今後も記録を残し、情報提供。連携を取っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・毎月行われている研修の中に専門機関の方に外部から来ていただき研修を受けている。又、外部研修も受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・今年はコロナ禍で外に出ることが少なく、交流を持っていないが、毎年、児童館の祭りに行くことや公園、コミュニティセンター利用し機会を設けている。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			・田辺・西牟婁の会議や白浜町障害福祉サービス事業所連絡会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳を通して、また送迎時、日々共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・必要に応じて相談を受け、職員間で話し合い、提案を行う事や話を聞いて支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に一緒に紙面で確認し説明を行い、書面を交付している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談窓口を設け、定期的に連絡し、また状況に応じて速やかに面談の機会を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会への参加等を図り、連携を行っている。年に一度、保護者会を行い、個別面談も行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応窓口を設け、適切に対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・くるみ通信を発行し、保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・書類を書庫へ収納し施錠、データの持ち出しの禁止等を徹底している。個人情報の扱いについて十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・連絡帳でのやり取り、通信の配布、送迎時の申し送り等を行っている。児童の個人情報については、送り時に家人に申し送っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・秋祭り等の開催を設け、招待をし地域住民との交流を図っているが、今年度はコロナ禍で実施出来ていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・マニュアルの作成、策定をし、掲示を行い、職員、保護者への周知を行っている。又、契約時に周知し、感染症については新型コロナや時期毎にお知らせを配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・避難、防災、防犯、総合訓練を年4回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・毎年定期的に研修を行い、職員間での共有を行っている。年2回セルフチェックを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・現在必要な児童はいない。身体拘束が必要な時には状況説明を行い同意をもらうようにする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・一覧表の作成を行い、職員間で共有できるようにしているが、現在は強いアレルギーをもっている児童はいない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・今日の出来事としてヒヤリハットを作成し、申し送り、会議時等、職員間での共有を行っている。	